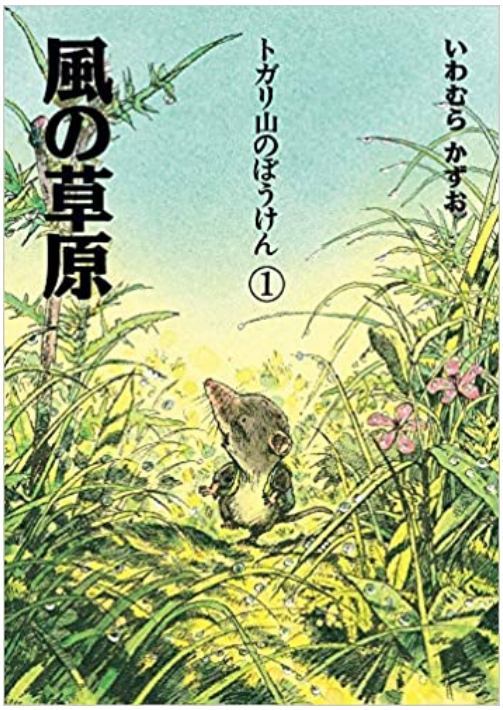
『トガリ山のぼうけん①　風の草原』～三年生　国語＜この本、読もう＞２９ページ

いわむらかずお



　トガリネズミのトガリィじいさんが孫のネズミ達に、トガリ山へ登った時の武勇伝を聞かせるお話です。途中でいろんな草原の生き物たちと触れ合ったり戦ったり、食べたり、食べられそうになったり、草原の世界を進んでいきます。どこか RPG（ロールプレイングゲーム）のようであり、子どもたちに受け入れられやいお話のパターンで進みます。

　トガリィじいさんのお話は、ときおり現在に戻り孫たちのチャチャが入ります。この場面がよい区切りになっていて、ダレずに読み進められます。でもどちらかと言えば、この本は子どもがじっくり読むというよりも、毎週、毎日、少しづつ朗読をした方が、物語の魅力を引き出せそうです。親しみやすそうなお話ですが、案外読むのは時間がかかります。
　この本はシリーズで全８巻まであるので、もし１巻目でうまく入れたら、読書好きになるきっかけになりそうな本です。

　最後に出てくる「あいつ」
　保護者の方々ならすぐお分かりになると思いますが、子どもにとっては、孫ネズミたちと同じように、興味をそそられるラスボスです。

●読むのにかかる時間　だいたい１時間
●単行本　１３５ページ
●理論社